

# 島根原子力発電所 2号炉 津波による損傷の防止

「津波発生時の運用対応について」

---

(コメント回答)

令和2年8月  
中国電力株式会社

# 審査会合における指摘事項

No.	審査会合日	指摘事項の内容	回答頁
113	R2.7.14	・津波の種類（到達時間が短い敷地近傍の地震による津波、到達時間が長い敷地遠方の地震による津波）によって、循環水ポンプの停止運用を使い分けるのであれば、その考え方が明確となるよう説明すること。	P. 2

# 指摘事項に対する回答【No. 1 1 3】

## ■ 指摘事項（第876回会合 令和2年7月14日）

### 【No. 1 1 3】

○津波の種類（到達時間が短い敷地近傍の地震による津波、到達時間が長い敷地遠方の地震による津波）によって、循環水ポンプの停止運用を使い分けるのであれば、その考え方が明確となるよう説明すること。

## ■ 回答

津波発生時の運用対応のうち、海水ポンプの取水性に係る対応については以下のとおりとしており、津波の種類によって、循環水ポンプを停止するという点において使い分けは行わない。

### 【津波発生時の運用対応のうち、海水ポンプの取水性に係る対応】

大津波警報が発令された場合は、原則として※、気象庁より発表される第一波の到達予想時刻の5分前までに循環水ポンプを停止する。

※ 大津波警報が発令された場合は、循環水ポンプ停止操作を実施するが、海域活断層から想定される地震による津波は敷地に到達するまでの時間が短く、循環水ポンプ停止前に襲来する可能性がある。なお、海域活断層から想定される地震による津波に対しては、循環水ポンプ運転時においても取水槽水位が非常用海水冷却系の海水ポンプの取水可能水位を下回らないことを確認している。